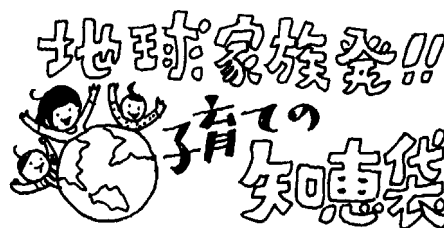


# 保育園での異文化体験エピソード



## その28 恐怖の「みそラーメン」



イラスト・うつろあきこ

本誌6月号でも紹介した「世界献立」で、劇団四季「ライオンキング」の初代パーカッションスト、B. B. モフランさんがコンゴ民主共和国の言葉リンガラ語のお話をしてくださいました。渡辺貞夫氏とのセッションで初来日した30年前、一番驚いた食べ物は「みそ汁」。暫くはこの「得体の知れないスープ」に口をつけられずに恐怖心だけが募っていったそうです。あるとき知人が「みそラーメン」を注文するのを見て、恐る恐る「そのラーメンには何の目玉が入っているの?」。じつは、リンガラ語で「みそ (liso / pl.miso)」は「目玉」を意味したのです。

同じアフリカのスワヒリ語で「ペシペシ・コラ!」といわれると、何だか怒られて叩かれている感じがすが、「早く・食べなさい」という意味。他にも牛のことを「ゴンベ」、ネコのことを「バカ」といったり、おもしろい言葉、発音がたくさんあります。

子どもたちはおもしろい言葉が大好き。モフランさんが披露してくれた言葉は、スワヒリ語の「ハクナマタタ」(何とかなさ、問題ない)のお話とともに子どもたちの記憶に深く刻まれたようで、みんなの笑顔と驚きがいつにもまして輝いていました。

(菱川広昭/神奈川県横浜市・おおつな森の保育園園長)

### 「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること(平和)を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか?!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp